

八ヶ岳自然クラブ講演会
フクロウを知る
分類から食べものまで



巣立ち後の子育て（撮影 栗原達夫）

日本にはフクロウの仲間は11種が知られ、そのうち本州で繁殖するのは4種です。中でも、その代表格で最大の種であるフクロウは、人里周辺を主なすみかとし、古くから親しまれてきました。しかし、夜行性であることから、鳴き声以外接点が少ない謎多き存在でもあります。今回は、フクロウの基礎知識として分類や生態をご紹介しますとともに、巣箱から回収されたペリット（団子状にはき出された不消化物）を実際にその場で分析して、食生活にもスポットを当ててみます。



ペリット（団子状に吐き出された不消化物）

秋山幸也

（相模原市立博物館学芸員）

生態学と環境教育が専門。学生時代から八ヶ岳の山小屋に入り浸っていたので、八ヶ岳は心のふるさとです。さまざまな角度からフクロウについて語ります。

講師

落合茉莉奈

（麻布大学野生動物学研究室 OG）

大学では八ヶ岳自然クラブのみなさんが回収してくださったフクロウの食性分析を研究テーマにしていました。実際にみなさんとサンプルから骨などを取り出して、何を食べていたのか調べてみたいと思います！

2018年10月10日（水）

■会場：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
（清里高原 清泉寮向かい）

■料金：無料

■スケジュール

12：30

受付開始

13：00～15：00

講演

15：00～15：30

質疑応答

■申込：不要です



主催：八ヶ岳自然クラブ 共催：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
お問い合わせ：八ヶ岳自然クラブ事務局 住山（080-2061-7673）
山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター（0551-48-2900）